

新年度予算に自民党議員団の政策

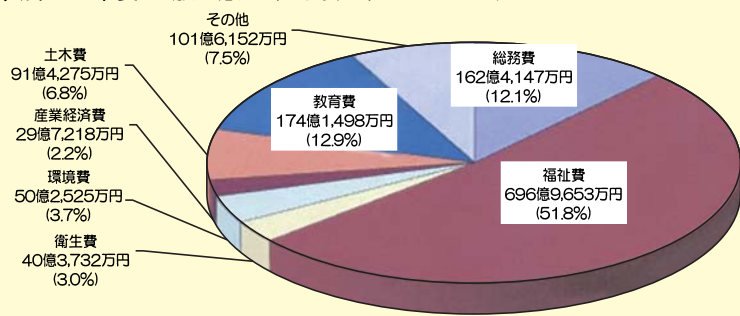
北区議会の平成25年度第1回定例会は2月26日開会され、理事者提案の条例改正や25年度予算案など40議案を可決し3月27日閉会した。

新年度一般会計当初予算は別表のとおり1346億円余で前年度比1.4%増。内容は自民党議員団が昨年11月に花川区長に提出した「新年度予算編成要望書」(289項目)の重点事業が多く含まれている。

項目別では緊急防災対策6億3千万円▽防災まちづくり19億1千万円▽水害対策(集中豪雨等)5億8千万円▽防犯・交通安全対策2億8千万円▽健康づくり・介護予防の推進12億6千万円▽社会参加の促進11億3千万円▽高齢者の見守り・地域支えあいの推進5億2千万円▽地域包括ケアシステムの推進8百万円▽安全・安心な生活の確保297億5千万円。

▽保育サービス・就学前教育の充実87億円▽子ども・家庭への支援の推進90億7千万円▽「教育先進都市・北区」の推進104億3千万円▽景気浮揚対策1億4千万円▽就労支援・雇用対策9千万円▽経営・生活支援2億5千万円となっている。

平成25年度一般会計当初予算(目的別歳出) 予算額 1,346億9,200万円



平成25年度北区一般会計予算に対する自民党議員団の賛成討論要旨



平成25年度第1回
北区議会定例会(2月26日~3月27日)
に上程された新年度
北区一般会計と4つの特別会計
予算の審査結果について、小野
田紀美議員(写真)が自民党議員
団を代表して次のような賛成討
論をおこなった(要旨)

北区の25年度予算案では、経営改革に全力を注ぎながらも、わが会派の予算要望を随所に取り入れており、まず「少子化対策」として、保育所待機児童解消と保育サービスの拡充を図っており、「教育施策」では、いじめゼロに向けた取り組みの強化や学力パワーアップ事業など教育先進都市北区の施策をより充実させている点。「高齢化対策」では、

地域に見守り活動の強化、高齢者安心センターの拡充、(仮称)高齢者いきいきガイドの作成等、高齢者が健康的に地域で生活できるよう支援する施策を充実させている点。「防災対策」では、避難所運営標準マニュアルの策定や、災害医療体制の充実、帰宅困難者対策等、より具体的な震災対策に取り組んでいる点。「経営改革」では、各事務事業のスリム化に引き続き取り組んでいること。区保有施設再配置の着実な推進を図っていること、また区民税や国民保険料の滞納率を下げ、歳入の確保に努めていることなど限られた資源を各分野において重点的・効率的に配分されている点は大いに評価できる。

以上の点を評価したうえで、わが会派が予算特別委員会で申しあげた次の重点施策6点を指摘し、各事業の推進を要望する。

- ①地域防災計画の改定に伴い、計画を活用した、より実践的な制度の構成を行う事
 - ②高齢者実態把握調査を生かしニーズにあった見守りの拡充を行う事
 - ③待機児童を出さない子育て施策の更なる対策と、ファミリー世帯に魅力あるまちづくりを
 - ④十条駅、王子駅周辺など、まちづくりを着実に推進する事
 - ⑤新庁舎の計画進行を早期に行う事
 - ⑥目的基金を計画的に積み上げ、区の課題解決に備える事
- その他、各款での指摘をふまえ、今後も安定した区民サービスを維持していくために持続可能な財政運営を行って頂くことを要望し、新年度北区一般会計予算並びに4特別会計予算案について賛成するものである。



【写真】上段中央：小池たくみ議長
下段：代表質問をする池田博一議員

区議会議場に国旗と区旗

平成25年度第1回北区議会定例会が開会された2月26日から、北区役所7階の議場に日の丸の「国旗」と北区の「区旗」が掲揚された。

昨年11月28日開会の定例会で、区民から提出された「北区議会の議場に国旗掲揚を求める陳情」について審議され、自民党議員団の前田ゆきお議員が要旨次のような賛成討論を行った。

「元来、国旗はそれぞれの国の歴史、伝統、文化の中から生まれたものであり建国の理念や国民全体の共通する願いが込められているものである。平成11年施行の「国旗及び国歌に関する法

律」に、日の丸は正式にわが国の国旗であることを法律に明記され、すでに慣習法として定着されている(略)、東京23区内では多くの区民から議場に国旗掲揚を求める請願陳情が提出され、すでに10区が国旗を掲揚しているのである(略)、国旗日の丸を多くの区民に親しんでもらい、郷土と国と国際社会への敬愛の念を深めることが出来るよう、速やかにこの議場において国旗掲揚を行うべきである」と述べ、採決の結果、賛成多数(共産党と新社会党議員が反対)で可決された。